

## [04\_05]九州大学大型計算機センター広報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1467989>

---

出版情報：九州大学大型計算機センター広報. 4 (5), 1971-10-15. 九州大学大型計算機センター  
バージョン：  
権利関係：

## 処理プログラムのレベルアップについて

7月1日よりFORTRAN, ALGOLのコンパイラがレベルアップされています。これにより、従来障害であったもののうち、以下の点が、修正されていますのでお知らせいたします。

### (I) FORTRAN修正点

- (1) 同じREAD文で読んだ値を配列の添字式に使用できなかったのが修正されました。  
例：READ(5,10) I, A(I)
- (2) 引用符で囲まれた文字定数が0桁の場合、FT164 Xのエラーメッセージを出すように修正されました。  
例：N = ▼▼
- (3) DO型入出力並びで、同じ制御変数を使用した場合、FT183 Yのエラーメッセージを出すよう修正されました。  
例：READ(5,10) ((A(I,J),I=1,3),I=1,2)
- (4) DOの中にimplied DOがあった場合、結果が正常でなかったのが修正されました。
- (5) 論理IF文にRETURN文があった場合、結果が正常でなかったのが修正されました。
- (6) OPTION文でOMIT指定をした場合、結果が正常でなかったのが修正されました。
- (7) Dタイプにおいて、ENCODE文でDO型並びを使用すると、プログラムがおかしいのエラーになっていたのが、正常にコンパイルされるように修正されました。
- (8)  $I=R(I:integer, R:real)$ で $|R| > 2^{35}$ の時、Iに0が与えられていたのを、絶対値の最大値が与えられるよう修正されました。

### (II) ALGOL修正点

- (1) 繰り返し文で▼STEPの後が式になっている場合、ALO49Yのエラーメッセージが出ていたものが修正されました。
- (2) 時間打ち切りになった時、「アドレス変換でエラーが見つかった」というエラーが出ていたものが修正されました。
- (3) 書式記号Tの処理に誤りがあったのが修正されました。
- (4) PAGEHEADが正常に動作しなかったのが修正されました。
- (5) 添字付変数を使った文の後に空文がある場合にコンパイルエラーとなっていたのが修正されました。

例：▼IF B ▼THEN ▼BEGIN ▼BEGIN

A( |I | ) :=A( |I | ) \* 2; ▼END; ▼END;

(6) MKLESS指定で、ENDの後にコメントを入れると、;が1個無視されることがあったのが修正されました。

(7) for ステートメントが10重以上になると、

AL081Z(KURIKAESI BUN) NO TAZYUUDO GA OOKI SUGIRU.

HONYAKU O YAMERU.

のエラーメッセージを出すよう、修正されました。(仕様変更)

(8) SNAPARRAYでパラメータ1個の場合でも使えるよう、仕様変更されました。

SNAPARRAY(A);      A:配列名

とした場合、

SNAPARRAY(▼<SNAPARRAY>▼, A);

と呼び出されたものとして扱われます。

修正されたコンパイラは、E27で

FORTTRAN……V 3、L12

ALGOL……V 3、L 6

です。